

タイの岩場

T1 プラナン

アジアの中で、最も世界中からクライマーが訪れているのが、タイのプラナンだろう

タイの首都、バンコクから南へ約 600 キロ

岩場のあるプラナンは、実際はタイの本島と陸続きだが、島に来ている錯覚を覚える。なぜなら半島の先と手前は断崖絶壁で遮断されており、全く通行できない。このため半島の先に行くには船で行くしかない。

このような場所であるがゆえ、自然がふんだんに残っており、車も1台も走っていない(道がない)。そしてタイの中でも有数のリゾート地になっている。12-3月がトップシーズン(とって30くらいある)で、特にヨーロッパから来ている人が多く、ほとんどはビーチで寝そべったり泳いだりして過ごしている。(女性はトップレスがあたりまえ)

日本からは時間があまりかからない、時差がない、現地での費用が安いなど、とにかくここがこのような環境であるため、休暇をかねたクライミングに行くには最高の場所である。

しかし最近では年末年始など、クライマーをはじめ来客者が多すぎ、宿泊場所が確保できないほどだ。毎年バンガローが増設されているようだが、来客者があまりに多いためか、物価も行くたびに大きく上がっている。

とにかくここはタイといふ雰囲気はほとんどない。ハワイのような南国のリゾート地に来た気分だ。今後もこの雰囲気が保たれる限り、アジアで一番人気のあるエリアであることは変わらないだろう。



岩質

石灰岩

ルート

99年のトポでエリア数34、ルート数約400本。クライミングをはじめてやる初心者から楽しめるルートがそろっている。一方高難度ルートはあまりなく、5.13の真中以上を狙うクライマーには物足りないだろう。一般的にはかなり広いレンジのグレードがあるので、1回はどんなクライマーでも楽しめるだろう。

基本的に真冬に行っても日陰でしか登れないくらい暑いので、太陽の動きに合わせてエリアも移動していくことになる。最も傾斜がきつ日本クライマーに人気のあるトンサイは午前中と日没前に登る。ルートはチッピングされているものもかなりある。

宿泊

基本的にはバンガロー(小さなバンガローがたくさんあるのでこれを1件借りる)となる。値段はピンキリで1泊1,000円くらいから4,000円くらいまで。1部屋2名が基本。ただし私が行った99年1月時点では、1/15になってもバンガローは満杯状態であった。

2001年冬に行つと話したと、トンサイに1件しかなかったバンガローが4件になり、正月でも楽に宿泊できたとのこと。

訪れる人が多く、毎年ものすごい勢いで開発が進んでいるので、現地を確認するしかない。

事前の予約もほとんど期待できない状況なので、不安ならテントも持参するとよい。夜も暑いし、海岸線は砂地なので、シュラフは不用。バスタオルを持っていくとよい。テントに蚊帳の入口がないと大変なことになる。蚊取り線香も必携。(日本のがよ効く)

食事はレストランたくさんあるので、ここで食べることになる。魚介類が安くておいしい。下痢には気を付ける。グリーンカレー、香辛料、CoCoレストランが3大下痢要因。

シーズン

冬。12-2月上旬がベスト。トポには年中可能なように書いてあるが、原住民でもない限り無理だろう。

ショッピング トポ

たいがいものはプラナンで売っているものが手に入る。クライミングショップもあるが、品揃えは悪い。テーピングテープはない。トポは現地で立派なものが手に入る。60メートルロープ必携。

アプローチ

いずれもバンコク経由でプーケットかクラビーへ飛行機で飛ぶのがよい。

クラビーがベストで、クラビーの飛行場からタクシーで港まで出て、ここから船でプラナンビーチへ運んでもらう。(約45分)

ただしバンコク-クラビーは便数が少ないのでいつも満席だ。

プーケットからの場合はタクシーでアオナンまで移動し(2時間、約7500円)、ここから船(15分)

船は最初少し不安だが、港に行くとき先を告げれば乗せてくれる。ポン引き見たいものもあるが、トラブルの話は聞かないので、目的地を言おう

1999年1月 内藤直也



トンサイウォールを登る